



弱い立場の人に寄り添う 西中間ヒサエ

福祉の現場の経験いかし 障がい者の声届ける人

- 障がい者の移動支援拡充を
- 国保・介護保険の軽減を
- ケア労働者の待遇改善を

ポータブル電源が 補助の対象に

「台風6号で、2万7070世帯が停電。人工呼吸器やたん吸引機などを使用して、電源を必要とする医療的ケア児などは、命に関わる危険な状況」(2023年9月議会)と取り上げて、ポータブル電源が補助の対象に。

ヘルパー利用時間拡大

2018年6月議会で、屋外の移動が困難な方々へのガイドヘルパーによる外出支援の

拡充を求めました。視覚障がい者のヘルパー利用時間が月32時間から46時間へ拡大。

紙おむつ給付が拡充

先進の横浜市、大津市の例を示し、身体障がい者への「紙おむつ給付対象の拡充」(2020年9月議会)を求めました。

在宅の身体障害者手帳の所持者に加え、療育手帳重度の方へも対象に。有料老人ホームやグループホーム入所者も給付対象になりました。

ストーマ装具の 給付基準額が増額

「直腸がん、膀胱がんなどの後遺障害で腹部に排泄口を開けたオストメイトの方々の装具の給付基準額が約30年間据え置かれている」(2024年9月議会)と問題にして、蓄便袋の基準額が660円、蓄尿袋の基準額が900円、それぞれ増額に。

高齢者の補聴器購入へ補助

2021年度から実施。対象拡大と補助の増額を求めました。



物価高騰対策 市へ緊急申し入れ

- 全世帯と子ども食堂にお米券の配布。
- 困窮家庭に向けて、水道料金の減免、電気・ガス・ガソリン代補助。
- 国保税1世帯1万円減税など、市へ申し入れました。

貧困から子どもたちを守る人

- 小学校と保育所の給食費ゼロを
- 18歳まで医療費ゼロを

ひとり親家庭支援の拡充

「新型コロナで一斉休校のとき、働く母親、特にひとり親の女性が子供を預けることができず、仕事を休まざるを得なくなり、収入減や無収入に」(2020年12月議会)と拡充を求め、児童扶養手当受給のひとり親世帯の児童1人に対し1万円支給に。

学校給食費 中学生無料、 小学生半額補助

「憲法は義務教育の無償化を定めています」(2023年6月議会)——私たち共産党はくり返し給食費の無償化を求めました。県が中学生の無償化を打ち出すなか、4月から実施になりました。

渡久地修県議と力あわせて解決へ頼れる相談相手

- 高齢者へバス・モノレールの交通費補助を

声を議会で取り上げて

- 末吉公園の遊具が使用禁止のロープがされたままに。子ども達が安全に利用できるように、整備を求めて、その後新しい遊具が設置されました。
- 首里金城町チニンビラの排水路と道路が大雨で決壊陥没との連絡を受け、すぐに現場で調査し、市と交渉。その後、改修と補修が完了しました。
- 「首里山川町下水道整備と里道整備」を2019年6月議会より、何度も取り上げて、現在整備工事が行われています。



「米兵による性犯罪は許せない」

「いくさやならんどー」戦争体験の両親の教えを忘れずに

「米兵による蛮行、性犯罪について断じて許せません。被害者の恐怖と苦しみを思うと胸が締めつけられ、悲しみと憤りがあふれてきます」(2024年9月議会)——米軍基地あるがゆえに戦後80年、沖縄県民と女性は耐え難い苦しみを強いられています。

私は、戦争を経験した両親から「いくさやならんどー」と教えられてきました。

「戦争につながる新基地建设はストップ」「日米地位協定は見直しを」——私は、オール沖縄を支えて、基地のない平和で豊かな沖縄へ全力をあげます。



写真は4月25日、米兵の性犯罪に対して沖縄防衛局に抗議の申し入れ